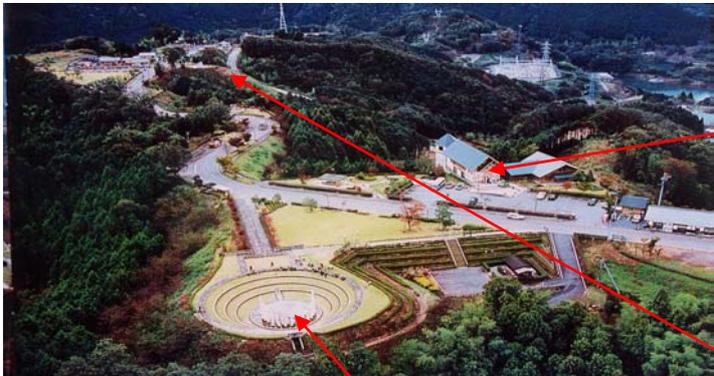


観光社会資本の事例

テーマ	「今、あなたは何を感じますか、何ができますか。」
<p>【施設の状況写真】</p> <div data-bbox="181 387 895 763"></div> <div data-bbox="470 775 750 810">シンボルモニュメント</div> <div data-bbox="210 819 898 956">人道の丘公園全景 自然豊かな八百津町から、皆さんに問いかけます。 此処に来て、「見て」「聞いて」ください。</div> <div data-bbox="956 387 1347 658"></div> <div data-bbox="1021 676 1257 714">杉原千畝記念館</div> <div data-bbox="956 743 1347 949"></div> <div data-bbox="1026 965 1345 1003">「命のビザ」モニュメント</div>	
<p>【施設の利用写真】</p> <div data-bbox="213 1079 735 1440"></div> <div data-bbox="205 1447 724 1576">多くの観光客が、パイプオルガンを象った モニュメントから流れる美しい音色に耳を かたむけています。</div> <div data-bbox="852 1111 1358 1193">観光客のほかに全国の学生や、自治体、 各団体等も研修に記念館に訪れます。</div> <div data-bbox="828 1198 1347 1585"></div>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>第二次世界大戦下の1940年、なにものにも代え難い生命が一人の外交官の決断によって救われました。ナチス・ドイツの迫害から逃れようとしたユダヤ人約6000人に対し、日本領事代理が人道的立場に立って、日本通過ビザを発行したのです。</p> <p>その外交官が、八百津町出身の杉原千畝氏であり、人間愛に満ちた勇気ある決断を功績として讃え、後世に伝えるべく、八百津町に人道の丘公園を建設しました。更には、千畝氏の生誕100年目の2000年には、全国または海外からの多くの人から寄せられた寄付金も充てて杉原千畝記念館を同公園内に建設しオープンしました。</p> <p>記念館は、オープン以来12万人の方に観光、研修等にご利用いただいております。</p>	

テーマ	「今、あなたは何を感じますか、何ができますか。」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 人道の丘公園・杉原千畝記念館</p> <p>所在地 岐阜県加茂郡八百津町八百津</p> <p>事業名 公園整備事業ほか</p> <p>事業主体 岐阜県・八百津町</p> <p>事業期間 平成3年～平成12年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>公園整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 杉原千畝氏の生前の望郷の念から、八百津の街が一望できる丸山ダムほとりの緑豊かな高台に公園を整備し、四季折々の季節の中で自然が満喫できる場所を来園者に提供しています。 <p>世界平和の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園内にある“シンボルモニュメント”は、世界平和をテーマに平和を奏でるモニュメントとして“八百津町から世界に平和と光の音楽を”のメッセージを発信しています。 “「命のビザ」モニュメント”は、“愛・心・勇気”を表現し、命の尊さ、人間愛の大切さを考えさせられる静かな空間を創りだしています。 <p>人権・人道教育の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成13年度から15年度の3年間、文部科学省の「人権教育総合推進事業」の指定を受け「地域とのふれあいを大切にし、人権意識を高める教育の推進」に杉原精神を基定において学習に取り組み、終了後の現在も引き続き取り組んでおります。 杉原千畝記念館では、200点余りの展示品、映像等、イスラエルからの国際交流員の講話等の実施で、道徳、社会、歴史について「見て」「聞いて」学ぶことができます。 	
<p>【位置図】</p>  <p>人道の丘公園 (無料・無休)</p> <p>杉原千畝記念館 (有料・火～日曜日開館)</p>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>岐阜県八百津町 http://www.town.yaotsu.gifu.jp</p>	